

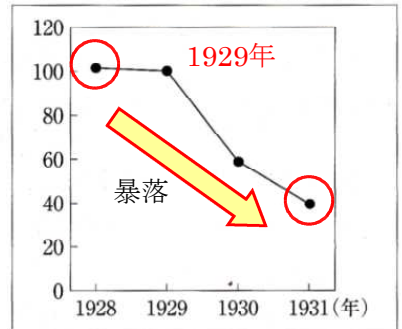
問4 (カ)

世界恐慌が生糸の生産を主産業とする農村にも影響を及ぼすことになった理由を、表Ⅰからは日本のアメリカへの輸出量の変化を、グラフからは日本の生糸の価格の推移をそれぞれ読み取り、それらを世界恐慌と関連付けて、60字以上70字以内で書きなさい。なお、文末は「から」で終わること。これらも全体の字数に入れること。

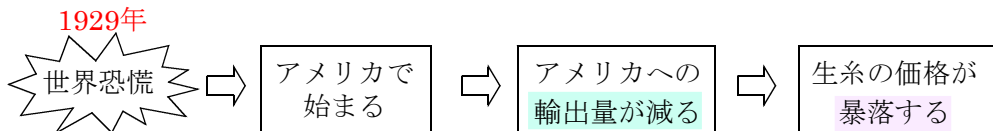
表Ⅰ 日本の生糸の総輸出量およびおもな輸出相手国とその国への輸出量

1928 年		1929 年	1930 年	
総輸出量		32,878 トン	総輸出量	
			28,194 トン	
輸出相手国	輸出量		輸出相手国	輸出量
アメリカ	30,831 トン		アメリカ	26,920 トン
フランス	1,584 トン		フランス	634 トン
イギリス	169 トン	減少	イギリス	232 トン
カナダ	140 トン		カナダ	201 トン

グラフ 日本の生糸の価格の推移



世界恐慌が生糸の生産を主産業とする農村にも影響を及ぼすことになった理由



(例) 日本の最大の輸出相手国であるアメリカで世界恐慌が始まったことで、生糸のアメリカへの輸出量が落ちこみ、生糸の価格が暴落したから。(63字)